

戸先錠取付方法

※本説明書は、施工後、お施主様にお渡しください。

■梱包明細

※開梱時に種類と数量を確認してください。(部品袋の内容にもご注意ください)

名称	入数				詳細	
	2枚建て		4枚建て			
	シリンダーセット	シリンダーセット マディオ	シリンダーセット	シリンダーセット マディオ		
外錠本体	1	1	1	1	シルバー、ゴールド、ブラックのいずれか	
外錠本体(ダミー)			1	1		
内錠本体	1	1	2	2		
召し合せツマミ	1	1	2	2		
戸先内錠	1	1	1	1		
戸先内錠(ダミー)	1	1				
内締り錠			2	2		
シリンダーザ(穴無)	1	1	1	1		
シリンダーザ(穴有)	2	2	2	2		
ツマミ	1	1	2	2		
シリンダー		2		2		
ハサミナット	4	4	7	7		
鍵セット	1	1	1	1		子鍵/5本(内1本は握り部樹脂製)、工事用キー(コンストラクションキー)/3本
取付ねじセット	1	1				M4×16皿ねじ/2本、M4×30皿ねじ/3本、M4×16皿ねじ(塗装)/2本
			1	1	M4×16皿ねじ/2本×2、M4×30皿ねじ/3本×2、M4×16皿ねじ(塗装)/2本、M4×16皿ねじ(塗装)/1本	
説明書	1	1	1	1	ユーザーマニュアル/1部、取扱説明書/1部、取付説明書/1枚	

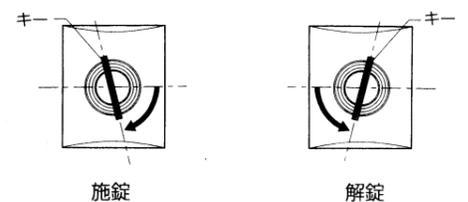
■取付け手順

- ※戸先錠ケースを先に取り付けてください。
- ①戸先内錠の錠連結部を戸先錠ケースのスライダの穴に差し込みます。
 - ②下部溝がアルミ型材にひっかかるまで下方にスライドします。
 - ③取付けねじ(M4×16頭部色付き)で固定します。
 - ④シリンダーザを「上」刻印を上にして戸先内錠のシリンダーツツの突起部にはめ込みます。
- ※上下逆に取付けると破損のおそれがあります。
- ⑤サムターン部に差し込んである短冊を破れない様にはずします。
- ※戸先錠ケースの取付封印シールは、戸先錠、引手(把手)を取り付け後にお剥がしください。
- ※4枚建ての合掌部は戸先錠と同一品で取り付け方も同じです。
- 4枚建ての場合、戸先枠にシリンダーザはありません。
- ※戸先内錠には、シリンダー付きとシリンダーなしがありますが、外障子、内障子どちらの縦框にも取り付け可能です。
- ※シリンダーザにはシリンダー付用の穴があいたものとシリンダーなし用の穴があいていないものがあります。

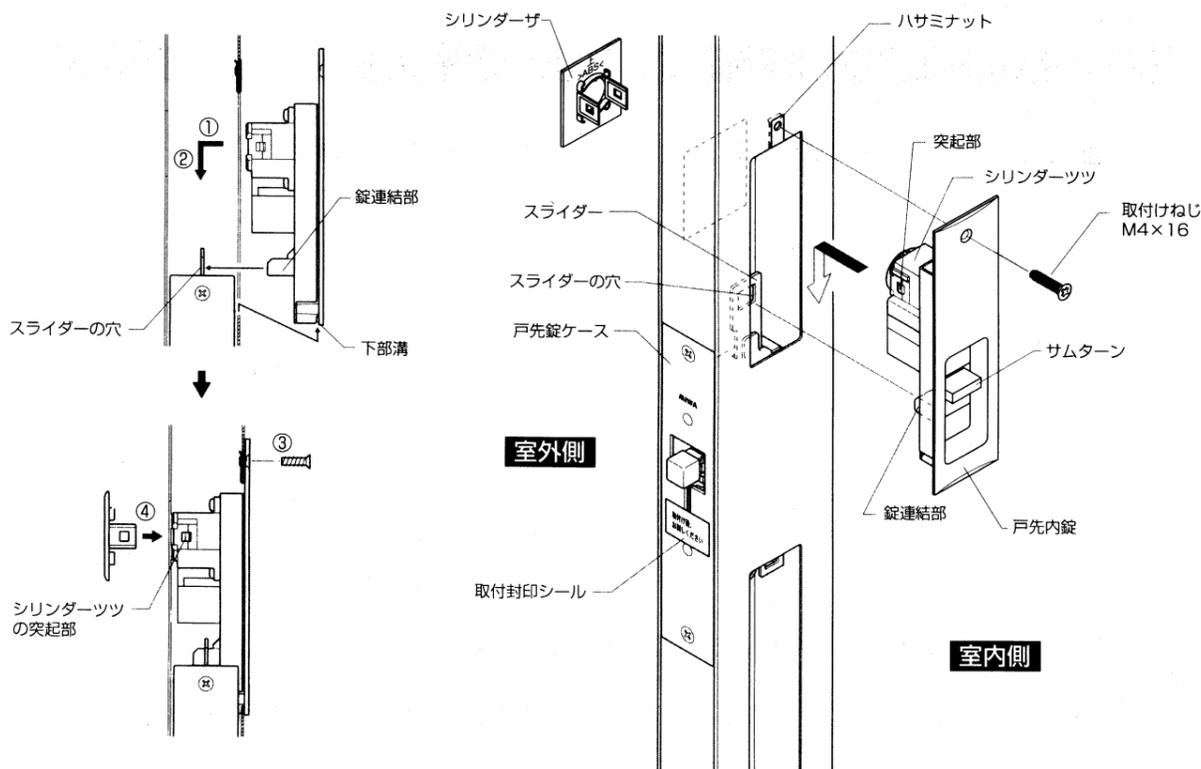
■施錠操作方法

- ※本錠は、安全装置付きの為、障子が閉まった状態でないとサムターンの「開」「閉」操作はできません。
- ※本錠は調整が不要です。建て付け調整をするだけで、施錠操作ができます。

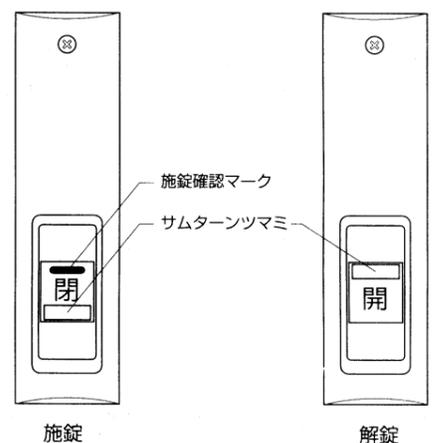
室外(キー操作)



■戸先内錠の取付け方



室内(サムターンツマミ操作)



取付説明書

召合せ取付方法

※本説明書は、施工後、お施主様にお渡しください。

取付け手順

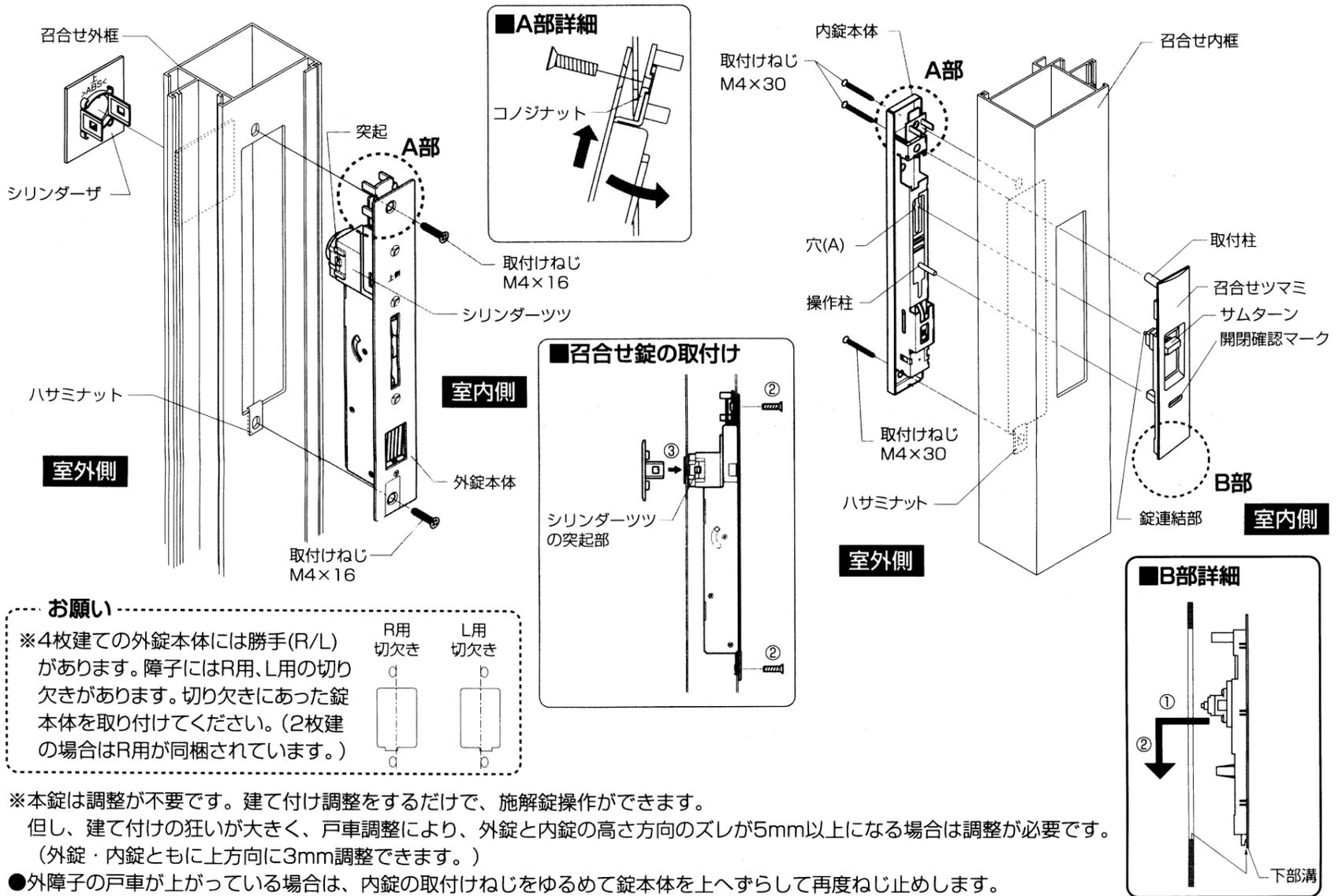
※必ずたて込み前に召合せ錠を取り付けてください。
障子のやり越しができなくなります。

【召合せ外錠の取付け】

- ①外障子の召合せ部に外錠本体を斜め下から差し込み、本体を起こします。(A部詳細参照)
- ※コノジナットは、枠切り欠き内部にいらしてください。
- ②取付けねじ(M4×16)で固定します。
- ③シリンダーザを「上」刻印を上にして外錠本体のシリンダーツツの突起部にはめ込みます。
- ※上下逆に取付けると破損のおそれがあります。

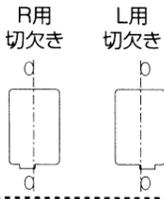
【召合せ内錠の取付け】

- ①内障子の召合せ部に召合せツマミを挿入します。
- ②下部溝がアルミ型材に引っ掛かるまで下方にスライドします。(B部詳細参照)
- ③内錠本体を斜め下から差し込み、本体を起こします。(A部詳細参照)
- ※コノジナットは、枠切り欠き内部にいらしてください。
- ※錠連結部が内錠本体の穴(A)に入る様に、また、召合せツマミの開閉確認マーク裏の柱の穴に内錠本体の操作柱が入る様にしてください。
- ※操作柱が確実に入っていない場合、開閉確認マークが作動しません。また、キー及びサムターンツマミ操作が確実に行われません。破損の恐れがあります。
- ④取付けねじ(M4×30)で固定します。
- ⑤サムターン部に差し込んである短冊を破れない様にはずします。
- ⑥取付け後、白いトリガーを押し込んだ状態でサムターンを操作し、カマが正常に出てくることを確認してください。



お願い

※4枚建ての外錠本体には勝手(R/L)があります。障子にはR用、L用の切り欠きがあります。切り欠きにあった錠本体を取り付けてください。(2枚建の場合はR用が同梱されています。)



※本錠は調整が不要です。建て付け調整をするだけで、施解錠操作ができます。

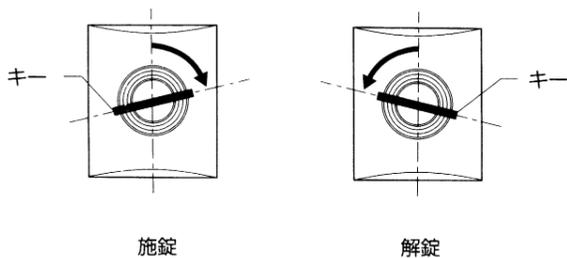
但し、建て付けの狂いが大きく、戸車調整により、外錠と内錠の高さ方向のズレが5mm以上になる場合は調整が必要です。(外錠・内錠ともに上方向に3mm調整できます。)

- 外障子の戸車が上がっている場合は、内錠の取付けねじをゆるめて錠本体を上へずらして再度ねじ止めします。
- 内障子の戸車が上がっている場合は、外錠を上方向に同様のやり方で調整します。

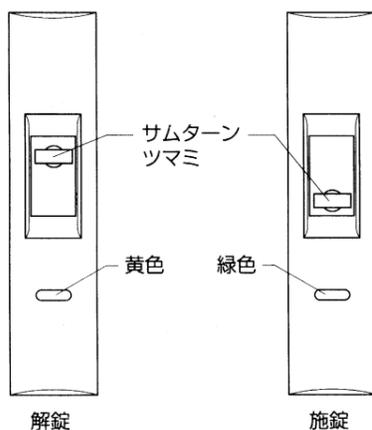
施解錠操作方法

※本錠は安全装置付の為、障子を閉めないでサムターンの「開」「閉」操作はできません。

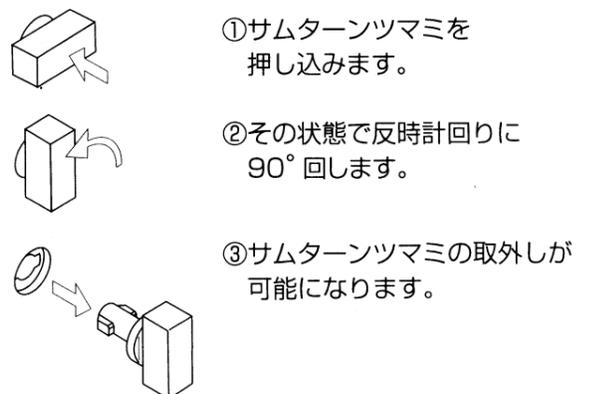
室外 (キー操作)



室内 (サムターンツマミ操作)



サムターンツマミ取外し操作



※本錠は調整不要の機構を採用しており、施錠後に障子を開ける操作をした場合、キーやサムターンツマミでの施錠操作が固くなる場合があります。その場合は、一度障子を閉め方向に動かすと操作が軽くなります。

※施錠された状態で、障子の開け方向に強い力が加わると、鎌がずれることがあります。これは、ガタつきをおさえる機構を破壊させないためのものですので、異常ではありません。

※本錠は、サムターンツマミの取外しが可能です。